

「おくたま」でつながる家

～奥多摩古里の古民家再生の提案～

子育て世帯の住宅事情

共働き家庭の増加により**家族が共に過ごす時間**が減っているほか、**地域とのつながりの希薄化**により、子育てに不安を抱える家庭が増加している。また、コロナ禍以降、**働き方や住環境に対する価値観**が変化している。一方、都心部では地価高騰が進み、ゆとりのある住空間の確保が困難になっている。

奥多摩の魅力

豊かな自然が織りなす四季折々の風景や清らかな水辺は静かで力強く、心と体を整えてくれる。また、**住民同士の距離が近く**、支え合いのある地域社会が安心感をもたらす。子育て世帯には、自然の中で**のびのびと育つ環境**があり、地域とともに生きる暮らしが子供たちに「生きる力」を育む。

「地域」とつながる

- 玄関アプローチと家族が集うダイニング空間とが面しており、みちゆく地域住民との交流が自然と生まれる。

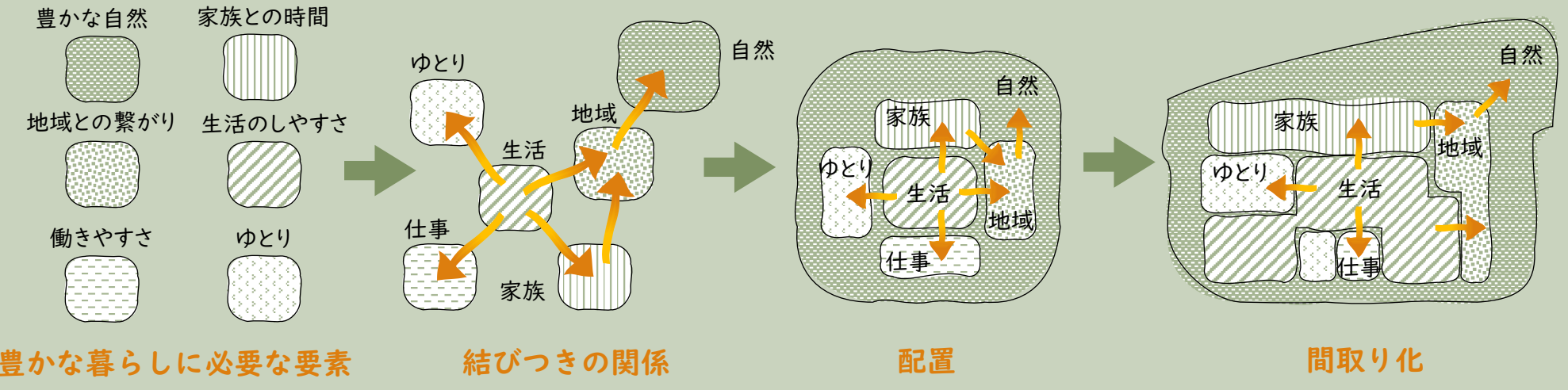


「自然」とつながる

- 多摩地域の豊富な木材を住宅内のアクセントとして使用することで、周辺環境と馴染んだ空間となる。
- 玄関や室内にアウトドア用品等を豊富に収納でき、奥多摩の自然を満喫した暮らしが叶う。



奥多摩でみつける「本当の豊かさ」



「家族」とつながる

- リビングが住宅の中心にあり、家族が自然と顔を合わせる。また、キッチンからリビングを見渡せるため、子供を見守りやすい。
- 『子育てに配慮した住宅のガイドライン(東京都住宅政策本部)』の指針を可能な限り順守した設計。



「仕事」とつながる

- ワークスペースとして個室が確保されている一方、リビングと隣接しており、家族の存在をガラス越しに感じることもでき、安心して仕事ができる。



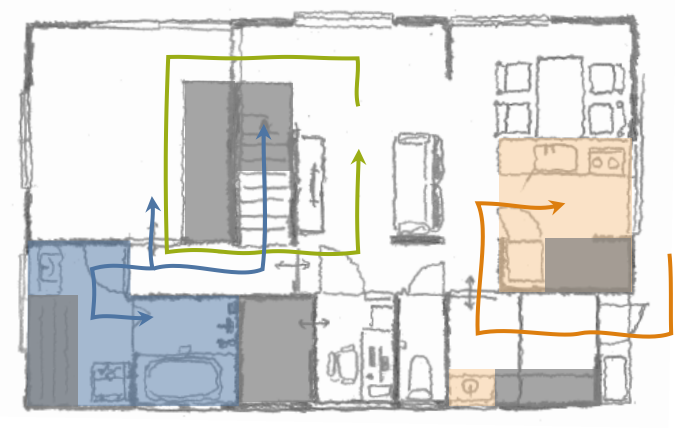
「空間」がつながる

- 1階の外構面には連続した広い窓を設け、日差しが差し込む暖かい空間となる。また、室内と室外を連続的に仕上げることで、空間が広く感じられ、窓辺が安らぎの空間となる。



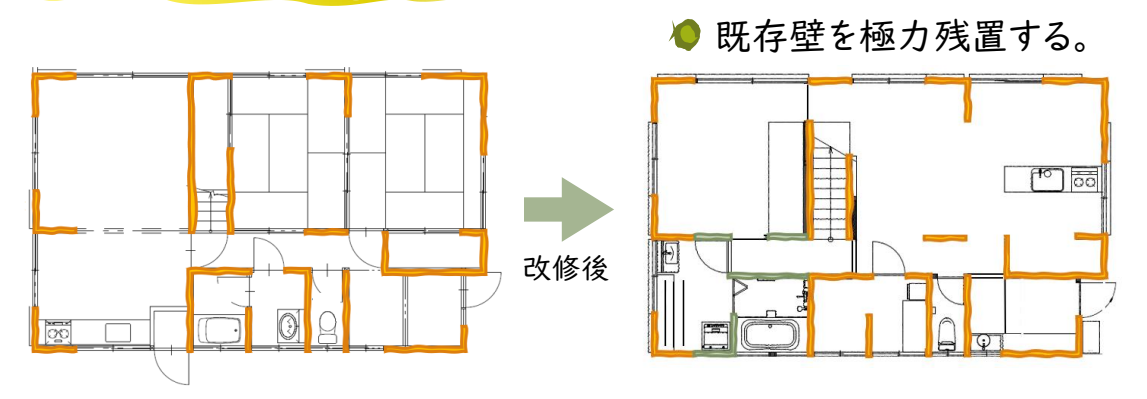
「便利」につながる

- ランドリールームを設けることで、花粉の季節や天候を問わず洗濯家事が可能になる。
- ランドリールームを中心に、洗面所・お風呂・収納空間を集約している。

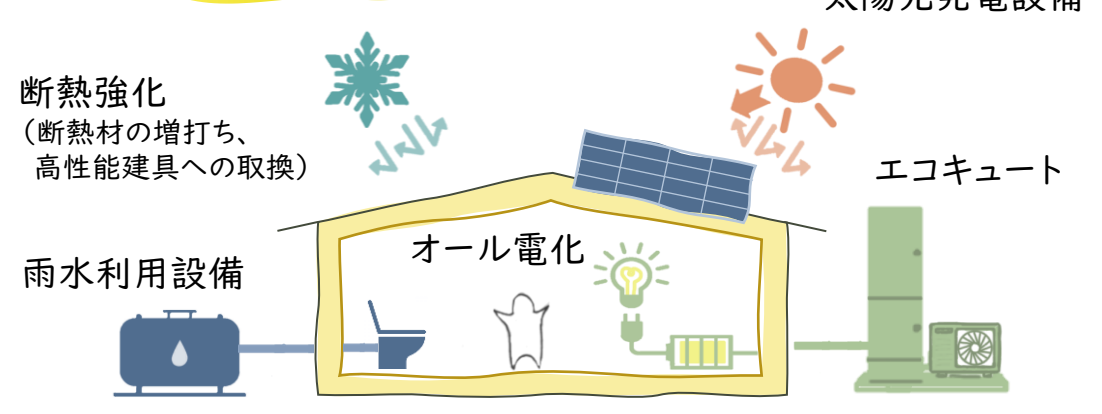


- 玄関に手洗い場を設け、帰宅後すぐに清潔な状態で室内に入ることができる。
- キッチンが玄関に近く、買い物の荷物をすぐに収納できる。
- 建物内の収納スペースは十分量を確保。(12%>最低8%以上)

既存を活かした計画



持続可能な住宅設備・性能



「未来」につながる

